

## はじめに

本調査は、当金庫のお取引先のご協力により昭和50年7月から実施しているものです。四半期ごとに調査を行い、D.I.を中心として分析を行っています。

なお、当金庫では6種類の一般業種のほか、地域金融機関として地場産業に重点を置いた調査を行い、次の8業種を選定しております。

- ① 縫製業
- ② 電子部品・半導体製造業
- ③ 漆器業
- ④ 木材業
- ⑤ 建具業
- ⑥ 織布業
- ⑦ 繊維・雑品業
- ⑧ 観光業

今回の調査は、平成30年10月～12月期の業況実績と、平成31年1月～3月期の見通しについて、管内768先の事業所を対象に実施いたしました。

些かなりとも経営のお役に立てていただければ幸いです。

### ※D.I. (Diffusion Index) 拡張指数

不変部分を除いて増加（上昇）したとする企業と、減少（下降）したとする企業の全体に占める構成比のどちらの力が強いかを比べて、時系列的に景気のベクトルの傾向を見る方法です。

## \*\*\*\* 目次 \*\*\*\*

1. 概況	1
2. 地区内の業況D.I.推移	2
3. 一般業種の業況	
(1) 製造業	3
(2) 卸売業	4
(3) 小売業	5
(4) サービス業	6
(5) 建設業	7
(6) 不動産業	8
4. 地場産業の業況	
(1) 能登地区の縫製業	9
(2) 能登地区の電子部品 ・半導体製造業	10
(3) 能登地区の漆器業	11
(4) 能登地区の木材業	12
(5) 能登地区の建具業	13
(6) 能登地区の織布業	14
(7) 能登地区の繊維・雑品業	15
(8) 能登地区の観光業	16
5. 経済指標	17～18
6. 特別調査	
2019年の経営見通し	19

(注) 平成30年10～12月を今期、平成30年7～9月を前期、平成31年1～3月を来期という、以下同じ。

### 調査対象企業の業種別先数および有効回答数

	依頼先	有効回答数	回答率 (%)	構成比 (%)
製造業	230	200	86.9	29.9
卸売業	36	29	80.5	4.3
小売業	226	197	87.2	29.6
サービス業	129	120	93.0	18.0
建設業	113	93	82.3	13.9
不動産業	34	29	85.3	4.3
合計	768	668	87.0	100.0

## ◇◆◇ 概 況 ◇◆◇

《 2018 年 10 月～12 月》

昨年とは打って変わって予報通りの暖冬が続いている。消費税増税まで一年を切ったが、政府のポイント還元方法やコンビニなどのイトインと持ち帰りの明確な区別など、導入までに解決しなければならない課題が山積している一方で、「Origami」や「Pay Pay」、「LINE Pay」などのキャッシュレス決済の動きが急速に広がりを見せている。今期初には原油の高騰でガソリンの価格が連日のように値上がりしたが、年末にかけて落ち着きを取り戻した。株価は5月に最高値を付けたものの、年末にかけて大幅な下落となり2万円をあっさりと割り込むなど激しい動きを見せた。

こうした中、当金庫営業地区の今期（平成30年10月～12月）業況D.I.は、△7.2（前期△12.8）と大きく改善を示した。

地区内全体では、期初には動きが鈍かったものの年末商戦もあって小売業や卸売業が好調に推移した。また、地区内の好景気を牽引してきた製造業にはやや陰りが見られたものの、相変わらず好調を維持している。安定した気候に恵まれた建設業も堅調に推移し、不動産業では金沢地区において活発化が見受けられた。一方で季節要因も手伝ってかサービス業だけが低調に推移した。

地場産業では、スマホの需要低迷を受けて受注が減少した電子部品・半導体製造業は大きく悪化を示し、好調を維持してきた縫製業や漆器業も悪化に転じている。北海道や海外への人気から入込客が減少した観光業も低調であった。繊維・雑品業や建具業、木材業は好調を維持し、資材向けが好調な織布業は大きく改善に転じた。

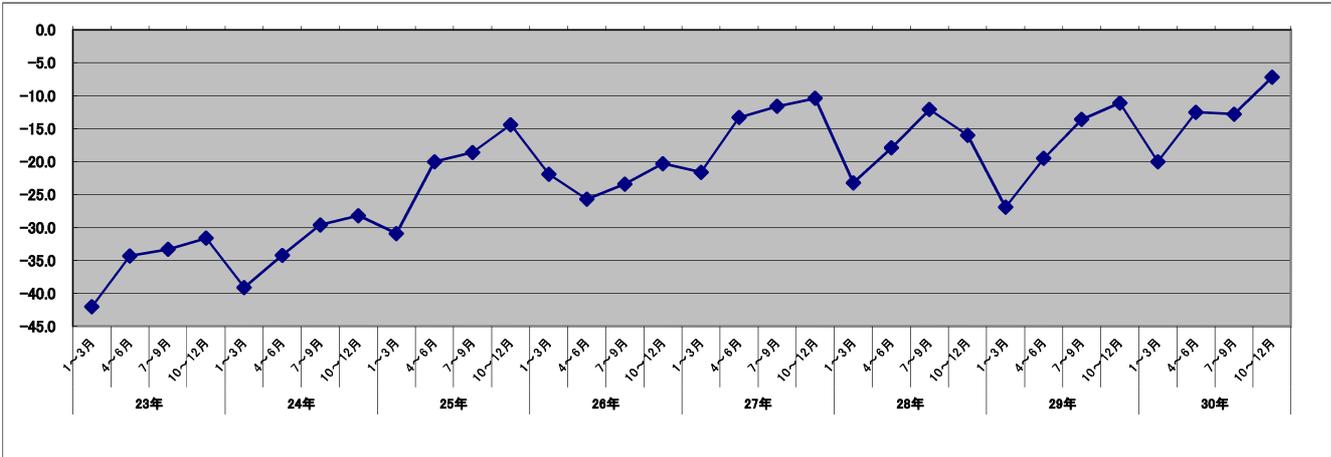
来期（平成31年1月～3月）の地区内における業況D.I.は、△18.6と悪化を予想する。地区内全体では全ての業種が悪化すると予想しており、地場産業においても電子部品製造業が横ばいを予想する以外全ての業種において悪化を予想している。

好調さを維持してきた地区内の景況も、全体で人手不足が深刻さを増し、人件費、原材料費などのコストアップに直面しており、今のところは各企業の自助努力で乗り越えようとしているが、今後も厳しい状況は続くものと見ている。反面、この機会を捉えて業務の効率化や生産工程でIoTやロボットなど先端技術の導入を進め、生産性の向上に繋げている企業が見られるようになってきた。しかしながら、今後の海外経済の動向が不安材料となる懸念や、来る消費税増税対応も負担増に繋がってくることは否めない。

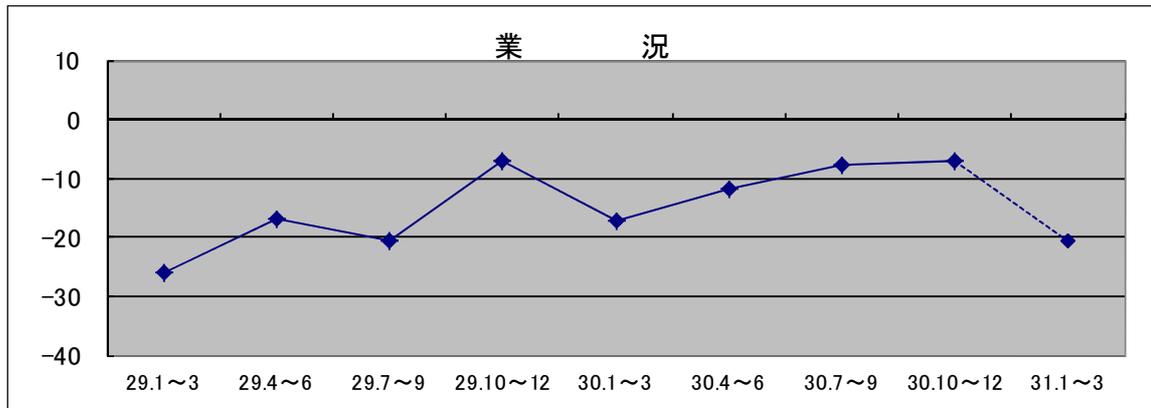
先般、七尾市の能登鹿北商工会が中島・田鶴浜・能登島の旧3町内で事業を営む経営者に対して事業継続にかかるアンケートを実施した。その結果は、将来廃業する予定とした企業が30%を超え、さらには「後継者が不在である」、「事業譲渡を希望する」といった企業を合わせると40%を超えるという衝撃的なものであった。当該地域に限らず能登地区においては、人口減少に伴うマーケットの縮小もあって企業存続の可否が大きな課題となって重く押し掛かってきている。

# 地区内の業況D. I. 推移

年	期間	業況D. I.	年	期間	業況D. I.
H23年	1~3月	△ 42.0	H27年	1~3月	△ 21.6
	4~6月	△ 34.3		4~6月	△ 13.3
	7~9月	△ 33.3		7~9月	△ 11.6
	10~12月	△ 31.6		10~12月	△ 10.4
H24年	1~3月	△ 39.1	H28年	1~3月	△ 23.2
	4~6月	△ 34.2		4~6月	△ 17.9
	7~9月	△ 29.6		7~9月	△ 12.1
	10~12月	△ 28.2		10~12月	△ 16.0
H25年	1~3月	△ 30.9	H29年	1~3月	△ 26.9
	4~6月	△ 20.0		4~6月	△ 19.5
	7~9月	△ 18.6		7~9月	△ 13.6
	10~12月	△ 14.4		10~12月	△ 11.1
H26年	1~3月	△ 21.9	H30年	1~3月	△ 20.0
	4~6月	△ 25.7		4~6月	△ 12.5
	7~9月	△ 23.4		7~9月	△ 12.8
	10~12月	△ 20.3		10~12月	△ 7.2



# 製造業



## 【概 況】

製造業を牽引してきた電子部品製造業や縫製業では勢いに陰りが見られ、漆器業についても大きく悪化した。一方で、織布業では資材関連が好調に推移し、繊維・雑品業は引き続き堅調であった。また、化学分野についても後発医薬品を中心として好調を続けている。

結果、今期（H30.10～12月）の業況D.I.は、製造業全体で△7.0（前期△7.7）と僅かに改善を示した。

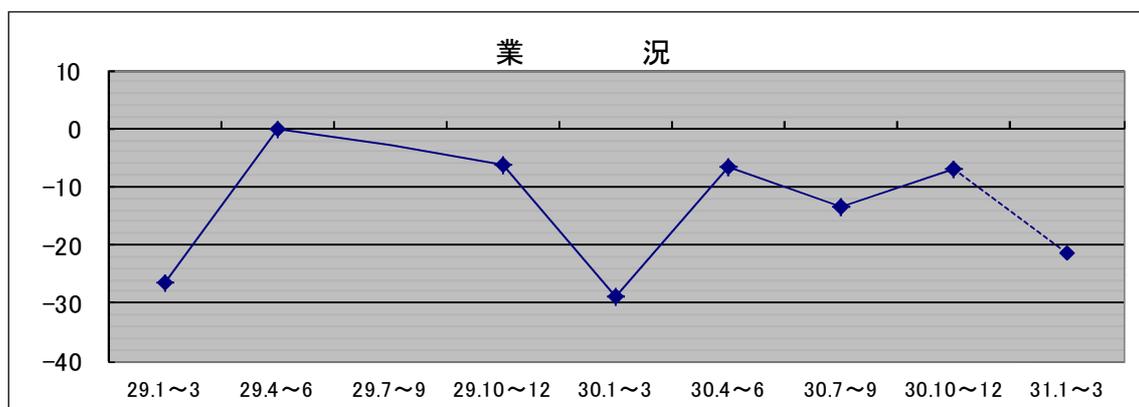
来期（H31.1～3月）の業況D.I.は△20.6と悪化を予想する。先行きについては慎重に判断する経営者は多いが、それを考慮しても全体で弱いと感じている。

### 《業績判断D.I.の推移》

	平成29年				平成30年				見通し
	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
業況	△26.0	△16.9	△20.5	△7.0	△17.2	△11.8	△7.7	△7.0	△20.6
売上	△23.0	△6.5	△17.6	2.0	△17.2	△3.4	△1.0	△6.0	△20.1
収益	△29.0	△9.5	△19.0	△6.5	△18.2	△9.4	△6.6	△8.5	△17.6
資金繰り	△15.5	△10.0	△16.1	△10.4	△9.1	△9.9	△6.6	△4.5	△4.5
人手	△11.5	△11.4	△8.3	△14.9	△14.1	△8.9	△10.7	△11.6	△9.0
設備	△6.0	△6.5	△5.4	△6.0	△7.6	△9.9	△4.6	△3.5	△3.5

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
売上の停滞・減少	16.4 %	提携先を見つける	27.6 %
輸入製品との競争の激化	13.7 %	経費を節減する	19.6 %
利幅の縮小	10.5 %	販路を広げる	16.5 %

## 卸売業



### 【概 況】

好調であった小売業や建設業の影響もあり、医薬品、青果・食肉などの食品、建設資材関連が好調に売り上げを伸ばした。季節柄贈答品も堅調であった。一方では日曜雑貨が低調に推移した。

卸売業全体の今期（H30. 10～12月）業況D.I.は△7.1（前期△13.3）と改善を示した。

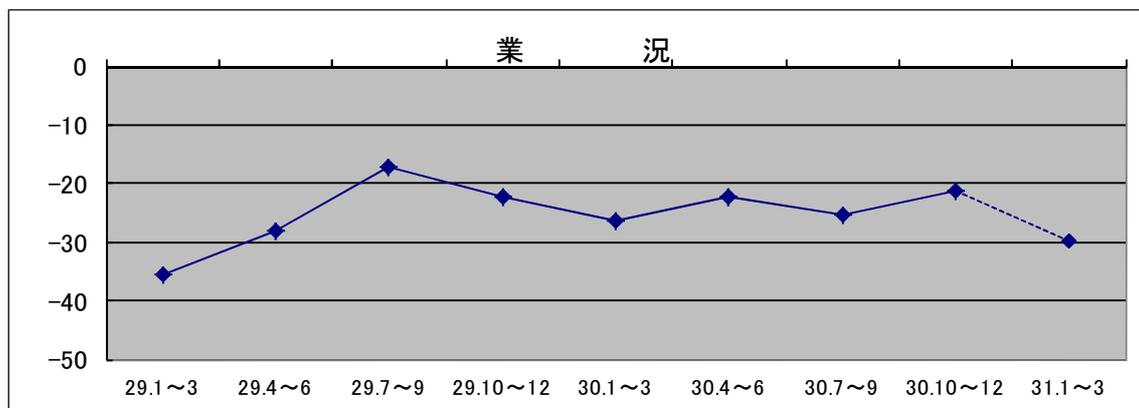
来期（H31. 1～3月）の卸売業全体の見通しは、△21.4と大幅に悪化すると予想する。乳製品、鮮魚、食肉などが落ち込むと見込んでいる。

### 《業績判断D.I.の推移》

	平成29年				平成30年				見通し
	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
業 況	△26.5	0.0	△3.0	△6.2	△29.0	△6.5	△13.3	△7.1	△21.4
売 上	△41.2	5.7	△3.0	△12.5	△25.8	0.0	0.0	△3.6	△10.7
収 益	△44.1	0.0	△3.0	△9.4	△29.0	△3.2	△3.3	△10.7	△17.9
資金繰り	△17.6	△11.4	6.1	△3.1	△19.4	△9.7	△6.7	0.0	0.0
仕入価格	△5.9	5.7	9.1	9.4	16.1	12.9	10.0	0.0	0.0
在 庫	△17.6	△5.7	0.0	3.1	0.0	3.2	3.3	△7.1	△7.1

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
合理化の不足	18.6 %	提携先を見つける	32.4 %
売上の停滞・減少	17.4 %	販路を広げる	24.3 %
同業者間の競争の激化	12.8 %	経費を節減する	17.6 %

# 小売業



## 【概況】

今四半期の前半は衣料分野で動きに鈍さが見られたが、年末にかけて景気の好調さに加え降雪の無さが功を奏して、百貨店やスーパーの売り上げが伸びた。飲食料品も好調に推移した。結果として、今期（H30.10～12月）の業況D.I.は△21.2（前期△25.5）と改善を示している。

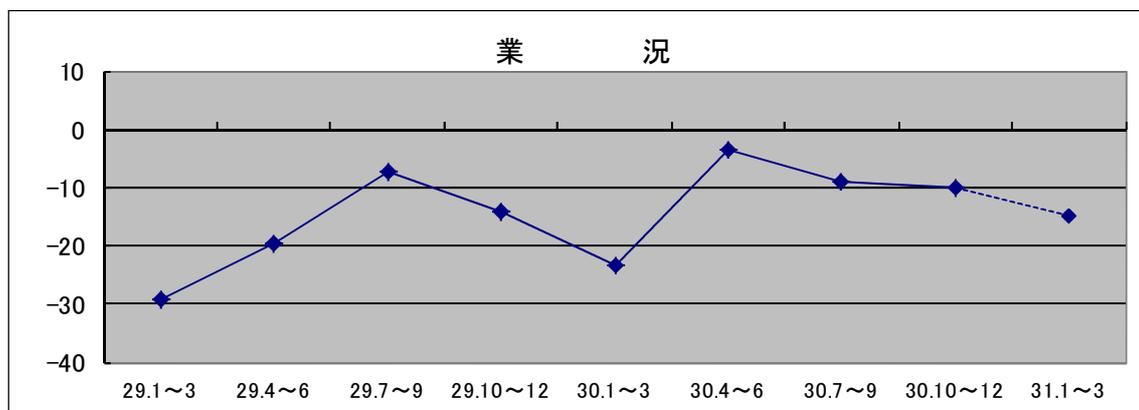
来期（H31.1～3月）業況D.I.については△29.8と悪化を予想する。年明けからはいよいよ消費税の増税への対応が急がれることとなる。家電販売や車両販売などは駆け込み需要に期待する声が聞かれるが、一方で、外食産業やスーパーなどは軽減税率導入対応への不安を口にする経営者が多い。

### 《業績判断D.I.の推移》

	平成29年				平成30年				見通し
	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
業況	△35.7	△28.2	△17.2	△22.3	△26.4	△22.2	△25.5	△21.2	△29.8
売上	△29.5	△16.8	△3.3	△13.6	△29.5	△3.8	△9.5	△11.1	△20.2
収益	△30.0	△17.3	△7.7	△15.0	△31.6	△5.3	△12.0	△11.1	△22.2
資金繰り	△26.1	△14.9	△14.4	△17.5	△19.2	△13.9	△17.5	△20.2	△19.7
販売価格	1.9	△2.5	3.8	7.3	1.0	10.1	8.0	△2.0	△2.0
在庫	△7.2	△2.0	1.9	5.3	△1.6	1.9	1.5	3.0	0.5

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
売上の停滞・減少	17.4 %	仕入先を開拓・選別する	28.6 %
地価の高騰	15.8 %	経費を節減する	21.8 %
同業者間の競争の激化	11.3 %	宣伝・広告を強化する	11.2 %

## サービス業



### 【概 況】

秋の観光シーズンを迎えたものの、地震の影響で減少していた北海道人気が復活したことに加え、海外旅行が増価したこともあって当地区の主な観光地への入込客の増加は見られなかった。旅館や民宿などは全体に売り上げを落とし、旅客運送業についても低調に推移した。車輛修理や理・美容業は大きな変化は無かった。

結果、サービス業全体の今期（H30. 10～12月）業況D.I.は△9.9（前期△9.0）と僅かに悪化を示した。

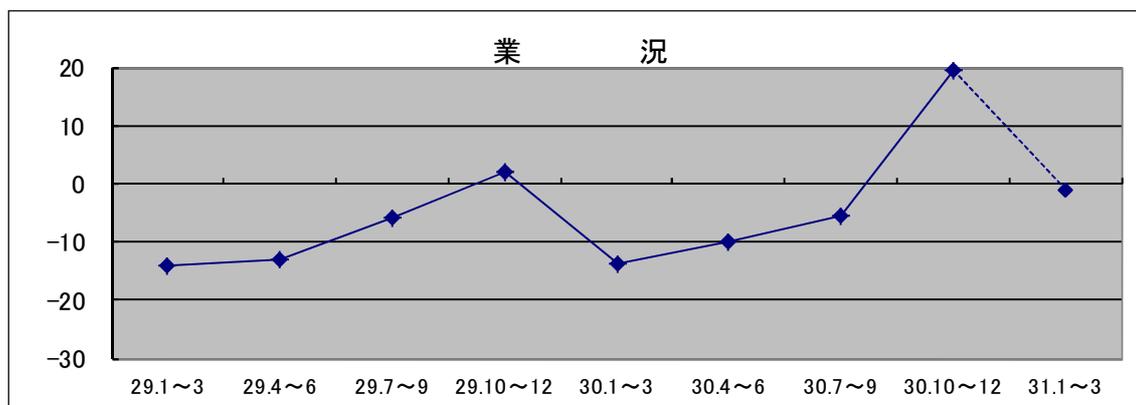
来期（H31. 1～3月）のサービス業全体でのD.I.見通しは、冬季を迎えることもあって△14.9と更なる悪化を予想する。料金単価の上昇から売り上げは増加するものと見込んでいるも、収益には繋がらないと見る。

#### 《業績判断D.I.の推移》

	平成28年	平成29年				平成30年				見通し
	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	
業 況	△29.3	△19.5	△7.3	△14.2	△23.5	△3.4	△9.0	△9.9	△14.9	
売 上	△29.3	△14.4	2.4	△14.2	△26.1	5.9	△6.6	△17.4	△16.5	
収 益	△33.6	△17.8	△4.0	△19.2	△29.4	3.4	△12.3	△12.4	△15.7	
資金繰り	△24.1	△20.3	△16.1	△15.8	△20.2	△7.6	△5.7	△5.8	△9.1	
料金価格	△6.0	△5.9	1.6	△3.3	△5.0	2.5	0.0	△1.7	△0.8	
設 備	△7.8	△9.3	△8.1	△12.5	△6.7	△4.2	△4.9	△5.8	△5.8	

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
売上の停滞・減少	16.0 %	提携先を見つける	32.6 %
同業者間の競争の激化	15.2 %	経費を節減する	22.75%
利幅の縮小	13.5 %	販路を広げる	12.6 %

## 建設業



### 【概 況】

地価や建設資材が高止まりする中においても、新築ではなく大規模改修に当たるリフォームが増加している。また、公共工事についても例年に無い穏やかな気候にも恵まれ工事も順調に進んだ。結果、今期（H30.10～12月）業況D.I.は19.4（前期△5.4）と大幅に改善を示し、3四半期連続の改善となった。ただ、人手不足が深刻さを増しており、少しでも作業の効率化と安全を図るべく、VRやドローンを活用して高所作業の疑似体験や効率的な施工に役立てようとする企業が増えている。

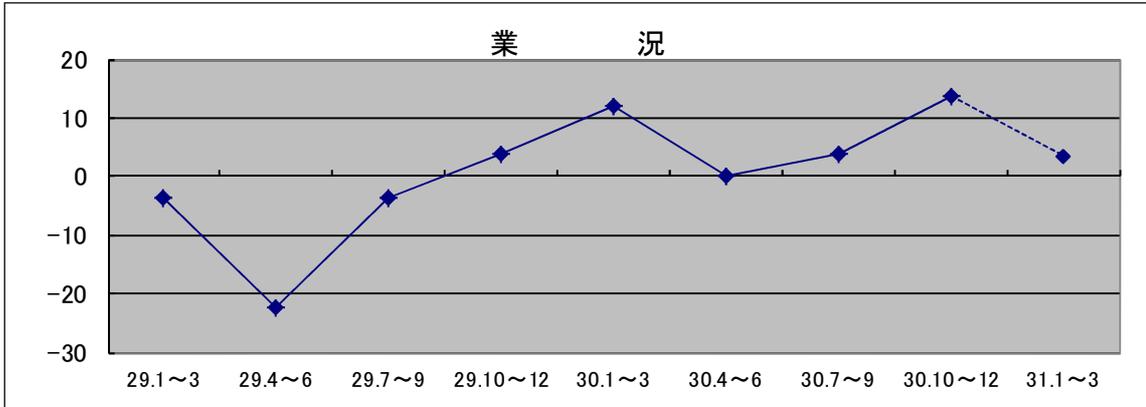
来期（H31.1～3月）の業況D.I.は△1.1と、工事の進捗度合いが低下する季節を迎えることもあって悪化に転じると予想する。

### 《業績判断D.I.の推移》

	平成29年				平成30年				見通し
	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
業況	△14.0	△13.0	△5.8	2.0	△13.8	△10.1	△5.4	19.4	△1.1
売上	△19.0	△3.0	△2.9	△5.1	△20.2	11.2	0.0	18.3	△14.0
収益	△18.0	△8.0	△7.8	△7.1	△21.3	△1.1	△3.3	11.8	△12.9
資金繰り	△16.0	△10.0	△10.7	△8.2	△4.3	△1.1	△4.3	3.2	△1.1
請負価格	△10.0	△5.0	1.0	△7.1	1.1	4.5	△2.2	2.2	△3.2
人手	△11.0	△11.0	△7.8	△14.3	△20.2	△10.1	△13.0	△20.4	△21.5

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
同業者間の競争の激化	15.5 %	技術力を高める	27.7 %
売上の停滞・減少	11.8 %	経費を節減する	18.5 %
利幅の縮小	9.7 %	販路を広げる	12.2 %

# 不動産業



## 【概況】

能登地区においては目立った動きは無かったものの、中能登以南においては今後想定される消費税増税前の駆け込み需要に備えて、住宅地などの確保に向けた動きが活発化してきている。

結果、今期（H30.10～12月）の業況D.I.は13.8（前期3.8）と前四半期に続き大きく改善した。

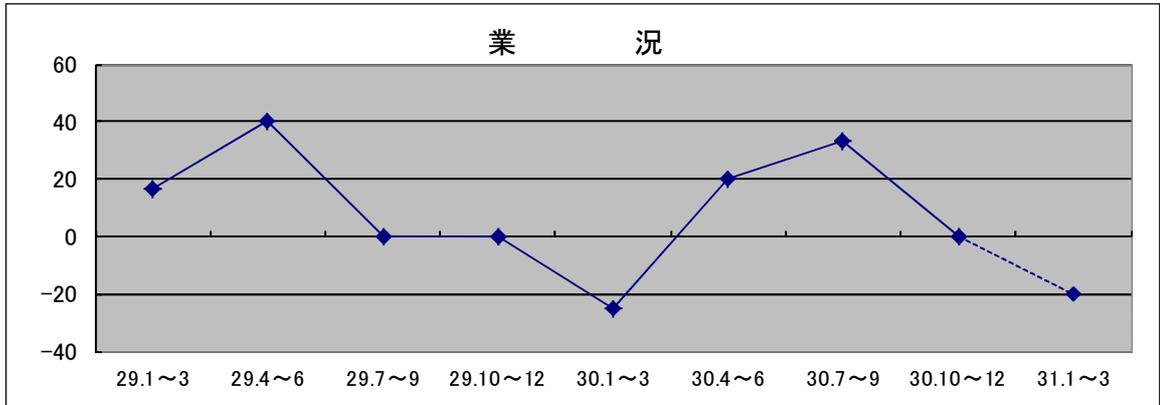
来期（H31.1～3月）の業況D.I.は3.4と悪化を予想するも、好調さは維持するものと見込んでいる。ただ業界全体では、需要に応じる為の在庫が不足を生じてきていることが窺える。

《業績判断D.I.の推移》

	平成29年				平成30年				見通し 1~3月
	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	
業況	△3.6	△22.2	△3.6	3.8	12.0	0.0	3.8	13.8	3.4
売上	7.1	3.7	17.9	11.5	4.0	15.4	0.0	13.8	3.4
収益	10.7	3.7	17.9	7.7	0.0	11.5	3.8	10.3	△3.4
資金繰り	△7.1	△11.1	△7.1	△7.7	△8.0	△11.5	△3.8	△6.9	△3.4
販売価格	△3.6	△3.7	7.1	11.5	△4.0	7.7	7.7	10.3	6.9
在庫	△3.6	△18.5	△7.1	7.7	△4.0	△3.8	△3.8	△6.9	△3.4

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
同業者間の競争の激化	40.5 %	提携先を見つける	24.0 %
大手企業との競争の激化	23.8 %	販路を広げる	18.8 %
売上の停滞・減少	19.0 %	宣伝・広告を強化する	18.8 %

# 能登地区の縫製業



## 【概況】

安定受注が続いていたが、受注に陰りが見られるようになってきた。

今期（H30.10～12月）の業況D.I.は0.0（前期33.3）と大きく悪化を示した。ただ地域全体では生産規模に応じた受注量の確保は出来ている模様。しかしながら経営の問題点に挙げる企業も多いことから、相変わらず人手不足の改善が見られないことが窺える。

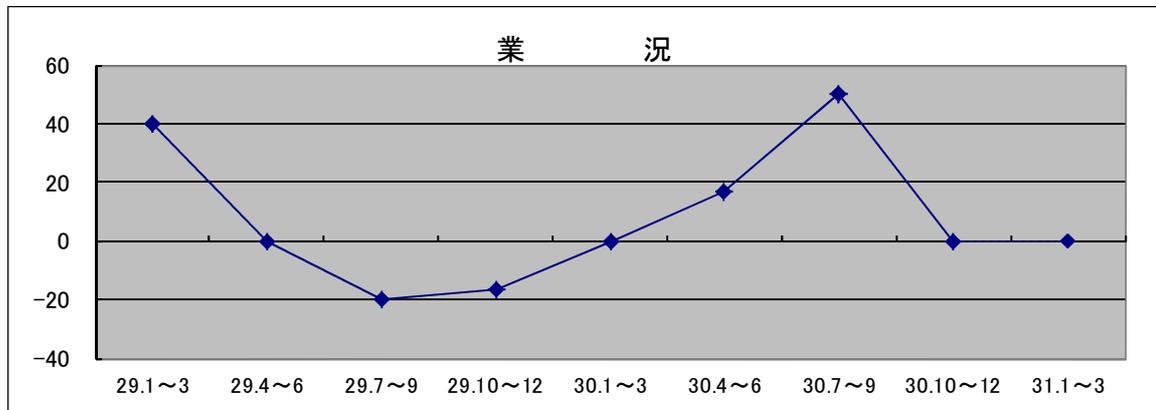
来期（H31.1～3月）は業況D.I.を△20.0と更なる悪化を予想する。先行き不透明感が出始めたとの経営者の声も聞かれ、景況判断を消極的にしている一因とも思われる。

《業績判断D.I.の推移》

	平成29年				平成30年				見通し 1~3月
	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	
業況	16.7	40.0	0.0	0.0	△25.0	20.0	33.3	0.0	△20.0
売上	16.7	0.0	△40.0	△33.3	△25.0	0.0	33.3	0.0	△40.0
収益	16.7	△20.0	△20.0	△33.3	△25.0	0.0	0.0	20.0	△20.0
資金繰り	0.0	0.0	△20.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0
人手	△33.3	△40.0	△40.0	△66.7	△50.0	△20.0	△66.7	△40.0	△20.0
設備	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
輸入製品との競争の激化	28.6 %	新製品・技術を開発する	23.1 %
売上の停滞・減少	21.4 %	販路を広げる	15.4 %
人手不足	7.1 %	経費を節減する	15.4 %

## 能登地区の電子部品・半導体製造業



### 【概 況】

中国や欧州におけるスマホ需要の低迷を受け、4四半期連続で改善が続いていた電子部品製造業界にも陰りが見られるようになってきた。受注残の消化で生産自体は高水準を維持した。一方で、自動車向けでは電気自動車の普及や電装化の進捗が目覚ましいことから、安定受注を確保している。

結果、今期（H30. 10～12月）業況D.I.については0.0（前期50.0）と大きく悪化を示し、5四半期振りの悪化に転じた。

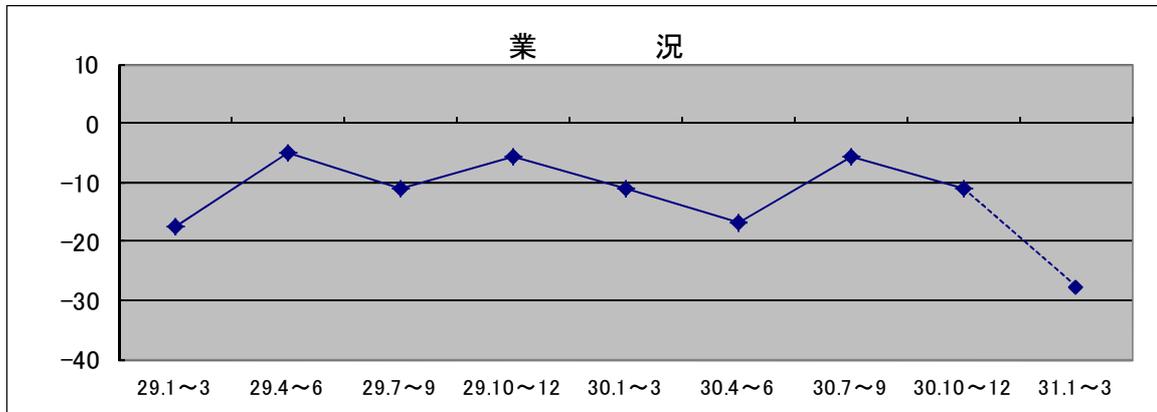
来期（H31. 1～3月）の業況D.I.は0.0と横這いを予想する。

#### 《業績判断D.I.の推移》

	平成29年				平成30年				見通し
	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
業況	40.0	0.0	△20.0	△16.7	0.0	16.7	50.0	0.0	0.0
売上	0.0	28.6	0.0	0.0	0.0	16.7	50.0	0.0	0.0
収益	0.0	0.0	△40.0	0.0	△20.0	0.0	0.0	0.0	0.0
資金繰り	0.0	14.3	20.0	0.0	20.0	△16.7	0.0	0.0	0.0
人手	0.0	14.3	0.0	△16.7	20.0	△16.7	0.0	0.0	0.0
設備	0.0	0.0	△20.0	△16.7	△20.0	△33.3	0.0	0.0	0.0

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
売上の停滞・減少	20.0 %	経費を節減する	28.6 %
輸入製品との競争の激化	20.0 %	提携先を見つける	14.3 %
利幅の縮小	20.0 %	機械化を推進する	14.3 %

## 能登地区の漆器業



### 【概 況】

昨年の同時期は箸などの廉価品の売り上げが堅調に推移していたが、今期においては入込人口の減少が見られたことから売り上げも大きく落ち込んだ。

結果、今期（H30.10～12月）の業況D.I.は△11.1（前期△5.6）と悪化を示した。

来期（H31.1～3月）も引き続き売り上げの増加は望めないと見て、業況D.I.を△27.8と更なる悪化を予想している。

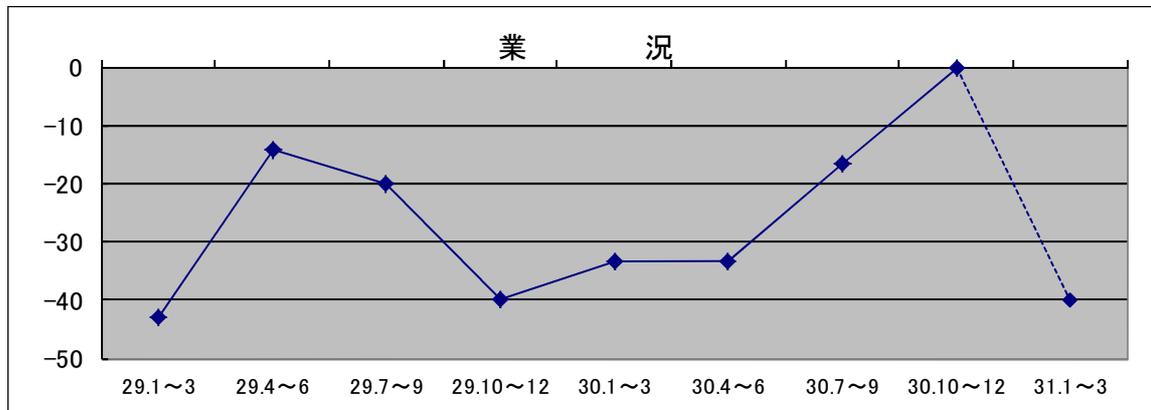
年末には和倉温泉に宿泊している富裕層をターゲットとした輪島塗の展示販売が行われるなど、高額商品の売り込みにも努めている。

### 《業績判断D.I.の推移》

	平成29年				平成30年				見通し 1~3月
	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	
業況	△17.6	△5.0	△11.1	△5.6	△11.1	△16.7	△5.6	△11.1	△27.8
売上	11.8	5.0	11.1	16.7	5.6	△11.1	11.1	△11.1	△27.8
収益	5.9	10.0	11.1	5.6	△5.6	△11.1	11.1	△11.1	△22.2
資金繰り	△5.9	△5.0	△5.6	△5.6	0.0	△11.1	△5.6	0.0	0.0
人手	0.0	△10.0	△11.1	△11.1	△11.1	0.0	△11.1	0.0	0.0
設備	△5.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
人件費の増加	29.3 %	提携先を見つける	30.2 %
利幅の縮小	26.8 %	経費を節減する	22.6 %
原材料高	26.8 %	情報力を強化する	15.1 %

## 能登地区の木材業



### 【概 況】

冬季ではあったものの今期の後半は好天に恵まれ、木材の乾燥も順調に進んだことから売り上げも持ち直した。結果、今期（H30. 10～12月）の業況D.I.は0.0（前期△16.7）と改善を示した。ただ通期では1㎡当たり単価の変動はあまり無く、地元丸太の入荷が少なく推移した。

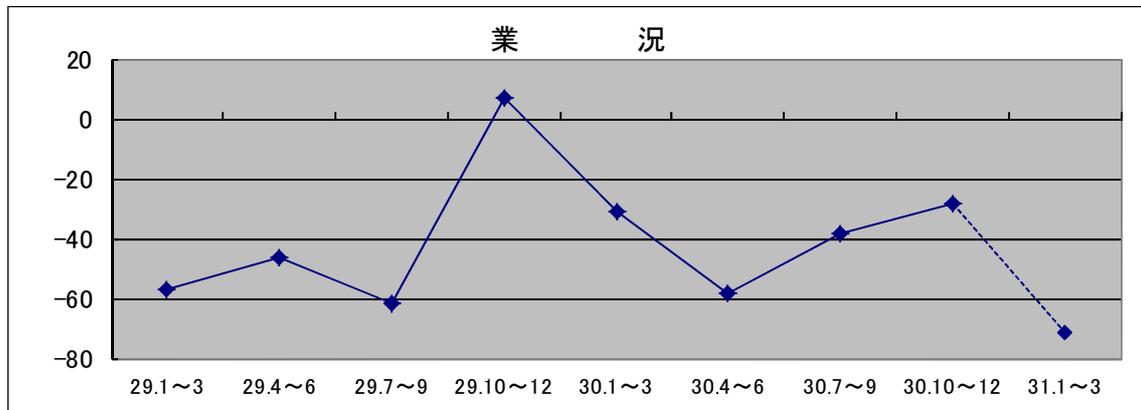
来期（H31. 1～3月）については、業況D.I.は△40.0と大幅な悪化を予想する。住宅建築などは、年明けから徐々に消費税増税前の駆け込み需要に向けての動きが見られるようになるのではとの住宅メーカーの声も聞かれ、業界では期待が高まってきている。

### 《業績判断D.I.の推移》

	平成29年				平成30年				見通し 1~3月
	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	
業況	△42.9	△14.3	△20.0	△40.0	△33.3	△33.3	△16.7	0.0	△40.0
売上	△28.6	△28.6	△20.0	△40.0	△16.7	△50.0	△33.3	0.0	△40.0
収益	△14.3	△14.3	△20.0	△40.0	△33.3	△50.0	△33.3	0.0	△40.0
資金繰り	0.0	△14.3	△20.0	△40.0	△16.7	△16.7	△16.7	0.0	0.0
人手	△42.9	△42.9	0.0	0.0	△16.7	△16.7	△33.3	△20.0	△20.0
設備	△14.3	0.0	△20.0	△20.0	△16.7	△16.7	△16.7	△20.0	△20.0

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
輸入製品との競争の激化	20.0 %	提携先を見つける	30.0 %
売上の停滞・減少	13.3 %	販路を広げる	20.0 %
人件費の増加	13.3 %	情報力を強化する	20.0 %

## 能登地区の建具業



### 【概 況】

今期（H30.10～12月）業況D.I.は△28.6（前期△38.5）と改善を示した。年末には、売上げの増加に繋げるべく他業種の展示会などに便乗して、組子細工やその他の技術のPRに努めた。

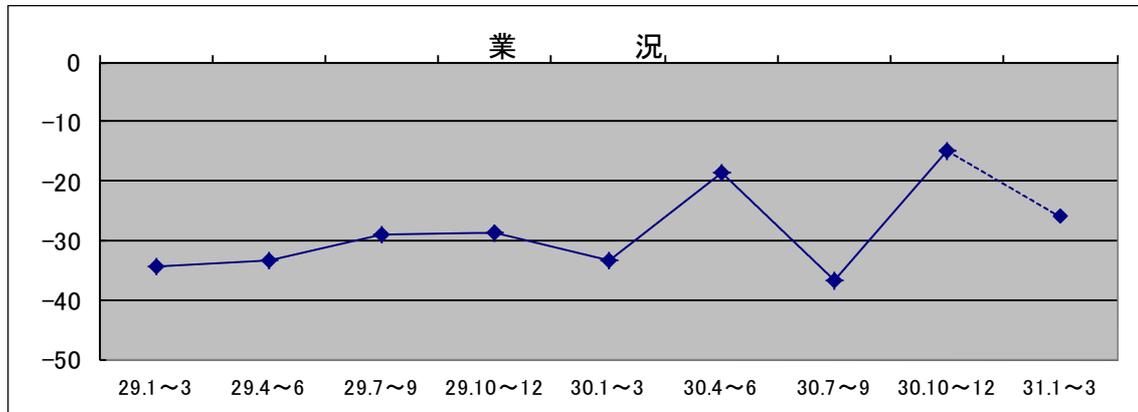
来期（H31.1～3月）の業況D.I.は△71.4と大幅な悪化を予想している。来年の消費税増税を見据えて住宅メーカーでは、3月までの契約締結で完成が10月以降でも現状の税率が適用されることをアピールしており、結果が反映されるのが次の四半期と見ている。建具業界としても、新築のみならずリフォームなどそれ以降の駆け込み需要にも大きく期待している。

### 《業績判断D.I.の推移》

	平成29年				平成30年				見通し 1~3月
	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	
業況	△57.1	△46.2	△61.5	7.1	△30.8	△58.3	△38.5	△28.6	△71.4
売上	△50.0	△23.1	△38.5	0.0	△38.5	△25.0	△30.8	△42.9	△78.6
収益	△71.4	△38.5	△61.5	△21.4	△46.2	△16.7	△38.5	△42.9	△78.6
資金繰り	△50.0	△38.5	△53.8	△21.4	△15.4	△16.7	△15.4	△7.1	△21.4
人手	△7.1	7.7	0.0	△14.3	△15.4	△16.7	△15.4	△7.1	△7.1
設備	0.0	△7.7	57.7	△7.1	△15.4	0.0	0.0	0.0	0.0

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
売上の停滞・減少	22.8 %	提携先を見つける	46.3 %
輸入製品との競争の激化	21.1 %	経費を節減する	24.61%
利幅の縮小	17.5 %	販路を広げる	22.2 %

## 能登地区の織布業



### 【概 況】

当地区における織布業の今期（H30. 10～12月）業況D.I.については△14.8（前期△36.7）と大きく改善を示した。自動車用素材が引き続き好調を維持したほか、高付加価値の織物生地を受注が好調に推移した。中には増産体制を整えるために織機の増設を予定している企業も見られた。しかしながら受注増加に伴い人手不足感が更に増しており、設備に対する不安も窺える結果となっている。

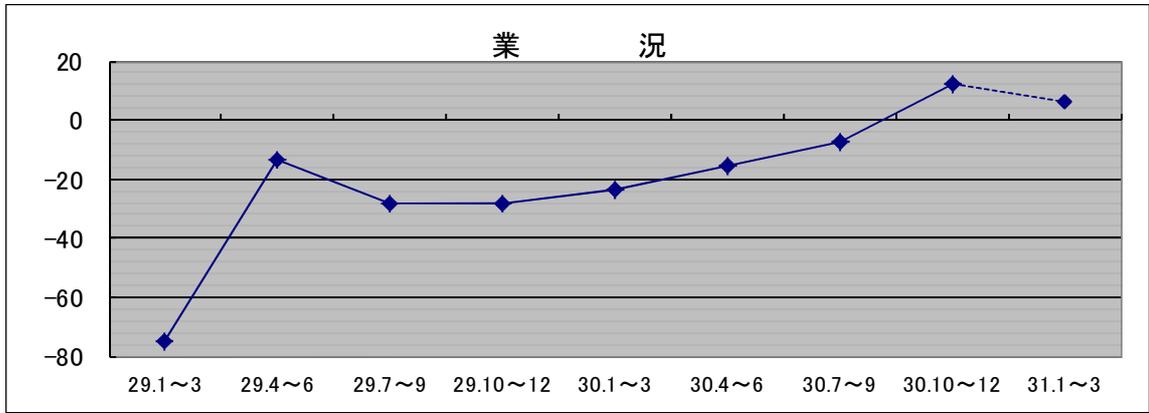
来期（H31. 1～3月）のD.I.については、好調の中にも先行き不透明感が拭えないとして△25.9と悪化に転じると予想している。

### 《業績判断D.I.の推移》

	平成29年				平成30年				見通し
	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
業況	△34.5	△33.3	△29.0	△28.6	△33.3	△18.5	△36.7	△14.8	△25.9
売上	△27.6	△22.2	△29.0	△25.0	△33.3	△11.1	△30.0	0.0	△25.9
収益	△37.9	△18.5	△22.6	△25.0	△29.2	△11.1	△30.0	△3.7	△29.6
資金繰り	△10.3	△3.7	△12.9	△14.3	△4.2	△3.7	△13.3	△11.1	△7.4
人手	△17.2	△18.5	△6.5	△10.7	△12.5	△3.7	△10.0	△11.1	△7.4
設備	3.4	△7.4	△3.2	△3.6	0.0	0.0	△3.3	△3.7	△3.7

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
売上の停滞・減少	13.2 %	提携先を見つける	31.6 %
人件費の増加	13.2 %	販路を広げる	24.6 %
輸入製品との競争の激化	10.3 %	経費を節減する	10.5 %

## 能登地区の繊維・雑品業



### 【概況】

エンブレース業では、夏場において近年にない受注の落ち込みがあり、小ロットの受注も積極的に受け入れるなどして乗り切った企業もあったが、繁忙期となる秋口より徐々に回復傾向となった。一方で、特殊高機能繊維に関わるゴム入り細巾織物は、今後の新展開も見込まれ、安定受注を維持している。結果、今期（H30.10～12月）業況D.I.は12.5（前期△7.7）と大きく改善した。改善は4四半期連続となった。

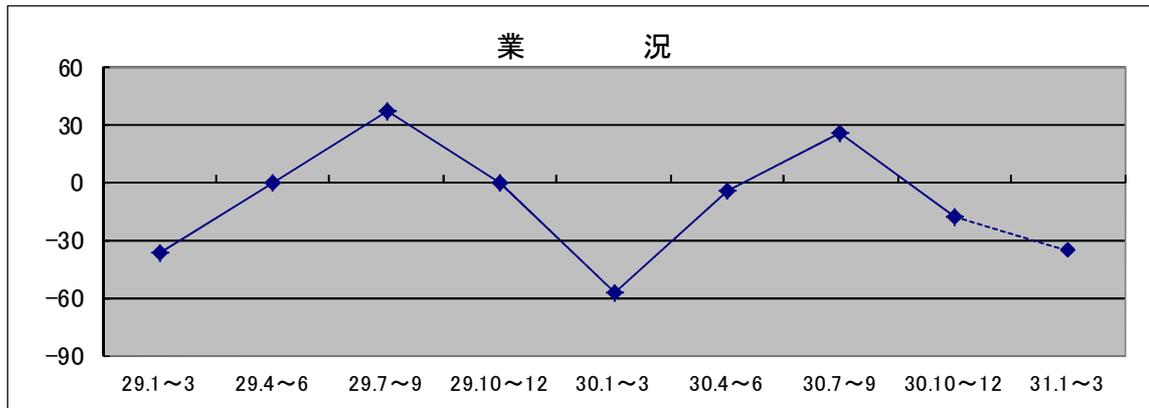
来期（H31.1～3月）の業況D.I.は6.2と5四半期振りの悪化を予想するも、大きな落ち込みも無く好調さを維持するものと見込んでいる。

### 《業績判断D.I.の推移》

	平成29年				平成30年				見通し
	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
業況	△75.0	△13.3	△28.6	△28.6	△23.5	△15.4	△7.7	12.5	6.2
売上	△83.3	△13.3	△21.4	△21.4	△17.6	15.4	△7.7	25.0	6.2
収益	△83.3	△13.3	△28.6	△21.4	△17.6	15.4	△7.7	6.2	0.0
資金繰り	△33.3	△6.7	△21.4	△21.4	△29.4	△7.7	△15.4	△12.5	△12.5
人手	0.0	0.0	7.1	△28.6	△23.5	0.0	0.0	0.0	0.0
設備	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
売上の停滞・減少	17.1 %	販路を広げる	23.5 %
原材料高	14.3 %	新製品・技術を開発する	20.6 %
機械の老朽化	14.3 %	情報力を強化する	11.8 %

## 能登地区の観光業



### 【概 況】

秋の観光シーズンを迎えたが、訪日外国人が年々増加している金沢地区に比べ、能登地区への入込客数は減少傾向を示しており、結果、今期（H30.10～12月）の業況D.I.は△17.6（前期25.0）と大きく悪化した。

来期（H31.1～3月）業況D.I.は△35.3と、本格的なシーズンオフ到来で更なる悪化を予想する。温泉街では地元食材をPRしたプランや、冬ならではのイベントを企画し、冬季の集客のテコ入れを進めている。

### 《業績判断D.I.の推移》

	平成29年				平成30年				見通し
	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
業況	△36.8	0.0	36.4	0.0	△57.9	△4.5	25.0	△17.6	△35.3
売上	△52.6	5.0	68.2	10.0	△47.4	36.4	45.0	△52.9	△52.9
収益	△52.6	0.0	54.5	△10.0	△47.4	31.8	40.0	△47.1	△58.8
資金繰り	△5.3	△20.0	△4.5	△5.0	△42.1	△4.5	△10.0	△5.9	△5.9
料金価格	△21.1	0.0	△9.1	5.0	△5.3	4.5	0.0	5.9	0.0
設備	△5.3	△10.0	△9.1	△20.0	△10.5	0.0	△5.0	△5.9	△11.8

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
売上の停滞・減少	13.1 %	提携先を見つける	34.6 %
利幅の縮小	13.1 %	経費を節減する	25.0 %
人手不足	8.4 %	宣伝・広告を強化する	17.3 %

## 主要経済指標

### ◆ 労働

(時間)

	有効求人倍率 (季節調整値)	実質労働時間	
		うち所定外	
29年 1月	1.76	141.6	11.6
29年 2月	1.80	151.0	11.8
29年 3月	1.82	151.9	12.2
29年 4月	1.86	156.3	12.2
29年 5月	1.90	146.8	11.6
29年 6月	1.92	157.9	11.7
29年 7月	1.88	154.1	11.7
29年 8月	1.86	147.5	11.2
29年 9月	1.84	154.0	11.9
29年 10月	1.84	152.2	11.9
29年 11月	1.85	153.6	11.9
29年 12月	1.80	153.1	12.1
30年 1月	1.97	137.1	10.0
30年 2月	2.02	143.9	10.1
30年 3月	1.97	148.1	11.0
30年 4月	1.98	153.4	11.4
30年 5月	1.96	143.5	10.0
30年 6月	1.99	154.9	10.8
30年 7月	1.98	150.8	10.1
30年 8月	1.97	144.6	9.3
30年 9月	2.00	147.7	10.3
30年 10月	2.02	149.7	10.5

資料: 石川県企画開発部統計課

### ◆ 消費者物価指数

※平成28年より2015年(平成27年)を100としています。

	消費者物価指数	
	総合	前年同月比
29年 1月	99.9	0.6
29年 2月	100.0	0.8
29年 3月	100.0	0.6
29年 4月	100.6	0.9
29年 5月	101.0	1.3
29年 6月	100.8	1.1
29年 7月	100.5	0.9
29年 8月	100.8	1.2
29年 9月	100.9	1.2
29年 10月	101.0	0.8
29年 11月	101.5	1.2
29年 12月	101.8	1.7
30年 1月	102.0	2.1
30年 2月	102.0	2.0
30年 3月	101.9	1.9
30年 4月	101.8	1.2
30年 5月	102.1	1.1
30年 6月	101.9	1.1
30年 7月	102.0	1.5
30年 8月	102.7	1.9
30年 9月	102.5	1.6
30年 10月	102.9	1.9
30年 11月	102.5	1.0

資料: 石川県企画開発部統計課

### ◆ 信用保証

(百万円)

	保証承諾		保証債務	
	件数	金額	件数	金額
29年 1月	170	2,097	23,058	168,046
29年 2月	208	2,411	22,663	164,047
29年 3月	276	2,966	21,981	160,358
29年 4月	191	1,438	21,633	157,545
29年 5月	230	1,703	21,337	154,062
29年 6月	350	2,465	21,076	150,616
29年 7月	244	1,866	20,775	147,022
29年 8月	247	2,231	20,421	143,695
29年 9月	311	2,694	20,018	140,909
29年 10月	181	1,502	19,727	138,194
29年 11月	176	1,630	19,353	135,146
29年 12月	200	1,577	18,969	132,033
30年 1月	126	1,521	18,706	129,159
30年 2月	162	1,288	18,345	126,816
30年 3月	214	2,081	17,811	124,582
30年 4月	199	1,734	17,497	122,421
30年 5月	264	2,021	17,252	120,483
30年 6月	328	2,606	16,975	118,645
30年 7月	276	2,550	16,687	117,047
30年 8月	269	2,279	16,469	115,686
30年 9月	254	1,806	16,183	114,207
30年 10月	281	2,691	15,972	112,457
30年 11月	235	2,204	15,818	111,698

資料: 石川県信用保証協会「保証月報」

### ◆ 企業倒産件数

(百万円)

	企業倒産件数	
	件数	金額
28年 12月	5	369
29年 1月	6	134
29年 2月	9	3,834
29年 3月	12	1,414
29年 4月	6	271
29年 5月	6	1,063
29年 6月	4	204
29年 7月	8	179
29年 8月	4	1,862
29年 9月	8	1,296
29年 10月	7	363
29年 11月	4	287
29年 12月	3	64
30年 1月	5	137
30年 2月	8	1,724
30年 3月	8	851
30年 4月	2	20
30年 5月	5	497
30年 6月	10	419
30年 7月	9	964
30年 8月	6	534
30年 9月	4	296
30年 10月	7	281
30年 11月	6	2,561

資料: (株)東京商工リサーチ

# 主要経済指標

## ◆ 建築着工

(千㎡、百万円)

	建築着工総数		うち住宅着工	
	床面積	工事予定額	戸数(戸)	床面積
28年 12月	78	13,641	524	52
29年 1月	116	21,200	625	58
29年 2月	77	16,435	464	46
29年 3月	87	16,538	613	56
29年 4月	100	18,079	591	62
29年 5月	109	20,698	738	70
29年 6月	119	22,664	698	68
29年 7月	100	18,552	650	64
29年 8月	87	16,788	687	65
29年 9月	117	22,877	776	68
29年 10月	115	22,358	787	71
29年 11月	97	19,637	765	70
29年 12月	82	14,987	538	51
30年 1月	77	15,477	480	44
30年 2月	117	33,595	520	52
30年 3月	86	16,297	578	59
30年 4月	131	24,775	665	66
30年 5月	130	27,119	623	61
30年 6月	119	24,423	742	70
30年 7月	84	15,406	642	62
30年 8月	93	18,067	645	59
30年 9月	103	19,681	725	66
30年 10月	143	25,960	723	66

資料:国土交通省(石川県内)

## ◆ 公共工事請負金額

(件、百万円)

	件数	請負金額
28年 12月	285	6,018
29年 1月	302	5,792
29年 2月	308	8,997
29年 3月	261	13,715
29年 4月	180	29,500
29年 5月	305	27,848
29年 6月	460	11,685
29年 7月	532	13,767
29年 8月	467	9,415
29年 9月	791	28,897
29年 10月	563	12,909
29年 11月	484	9,990
29年 12月	377	6,783
30年 1月	242	4,295
30年 2月	222	7,073
30年 3月	195	8,793
30年 4月	477	60,033
30年 5月	310	17,948
30年 6月	506	14,439
30年 7月	565	12,481
30年 8月	513	10,562
30年 9月	536	14,840
30年 10月	545	13,762
30年 11月	466	7,732

資料:東日本建設業保証(株)(石川県内)

## ◆ 新車登録台数

(台)

	普通自動車	軽自動車
28年 12月	2,632	1,288
29年 1月	2,584	1,337
29年 2月	3,601	1,832
29年 3月	6,245	2,973
29年 4月	2,538	1,367
29年 5月	2,594	1,350
29年 6月	3,534	1,129
29年 7月	3,134	1,553
29年 8月	2,489	1,194
29年 9月	3,264	1,764
29年 10月	2,444	1,361
29年 11月	2,423	1,512
29年 12月	2,582	1,384
30年 1月	2,395	1,524
30年 2月	3,223	1,759
30年 3月	6,047	3,069
30年 4月	2,545	1,539
30年 5月	2,702	1,464
30年 6月	3,225	1,791
30年 7月	3,442	1,765
30年 8月	2,522	1,324
30年 9月	3,401	1,914
30年 10月	3,182	1,598
30年 11月	3,285	1,884

資料:石川県自動車販売店協会

## ◆ 温泉地宿泊数

(人)

	和倉温泉	輪島温泉
29年 1月	54,615	7,400
29年 2月	57,478	7,500
29年 3月	75,460	12,000
29年 4月	55,438	10,800
29年 5月	66,457	16,200
29年 6月	63,971	11,500
29年 7月	62,248	14,000
29年 8月	93,928	20,800
29年 9月	65,231	15,500
29年 10月	78,696	16,700
29年 11月	84,816	16,300
29年 12月	69,313	6,900
30年 1月	58,721	7,000
30年 2月	56,352	7,600
30年 3月	77,271	8,700
30年 4月	60,206	11,800
30年 5月	67,787	16,300
30年 6月	63,858	12,900
30年 7月	63,816	15,500
30年 8月	98,503	23,300
30年 9月	69,984	14,300
30年 10月	79,254	17,800
30年 11月	84,619	17,300

資料:北陸観光協会、和倉温泉観光協会  
輪島市観光協会

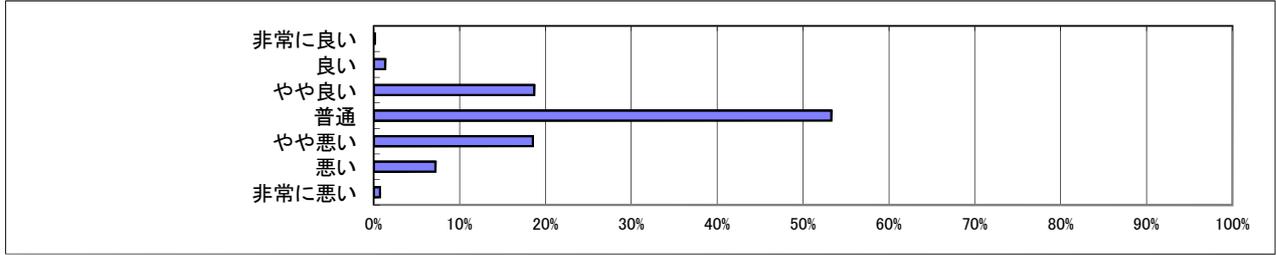
## ◆ 織物生産高

(千㎡)

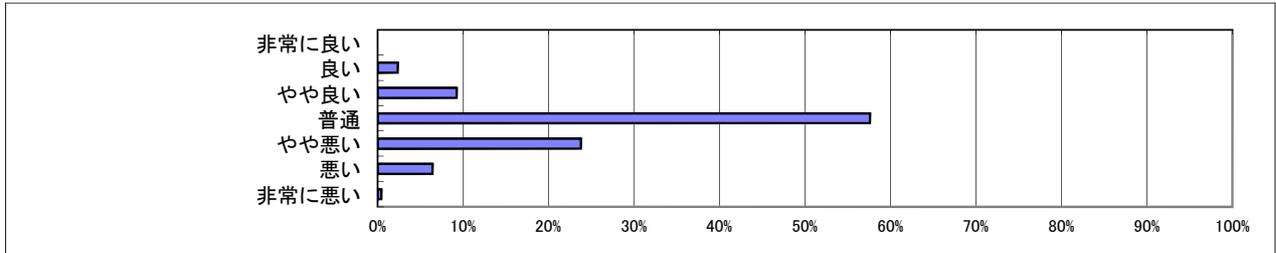
	合計
29年 1月	20,985
29年 2月	21,315
29年 3月	24,049
29年 4月	22,407
29年 5月	22,118
29年 6月	23,820
29年 7月	22,811
29年 8月	21,081
29年 9月	23,521
29年 10月	23,154
29年 11月	23,598
29年 12月	21,884
30年 1月	20,715
30年 2月	20,716
30年 3月	23,332
30年 4月	21,367
30年 5月	21,041
30年 6月	22,518
30年 7月	22,899
30年 8月	20,669
30年 9月	21,934
30年 10月	23,621

資料:石川県企画開発

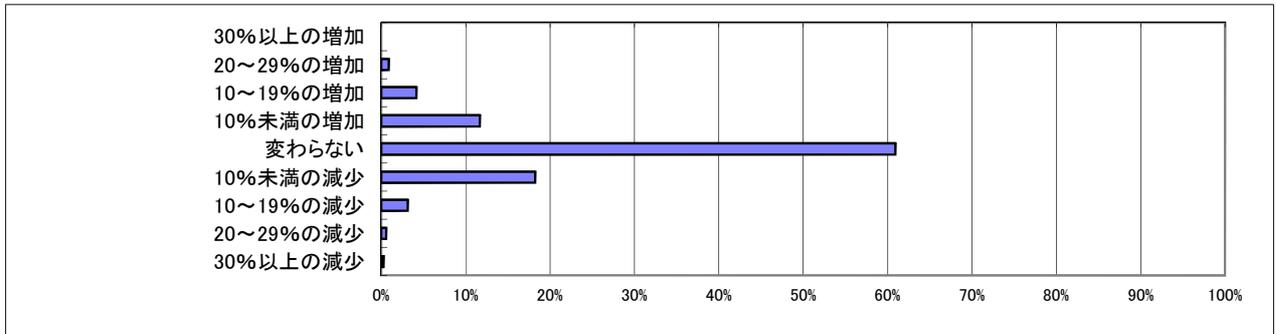
問1. 貴社では、2019年の日本の景気をどのように見通していますか。



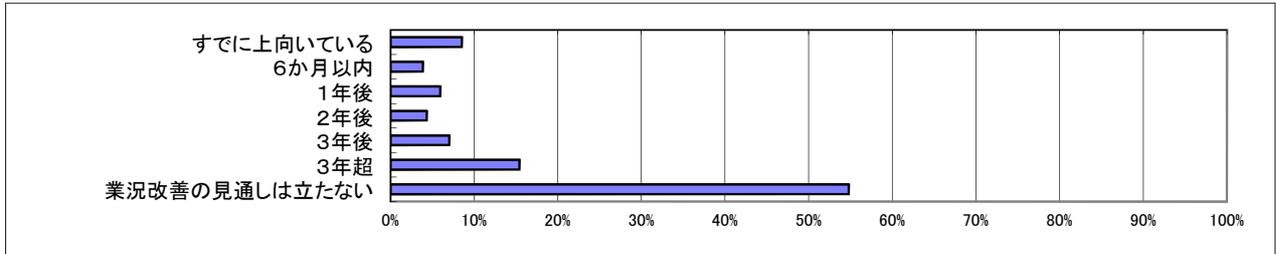
問2. 2019年の貴社の業況(景気)をどのように見通していますか。



問3. 2019年の売上額の伸び率は、2018年に比べてどのくらいになると見通していますか。



問4. 貴社の業況が上向く転換点はいつ頃になると見通していますか。



問5. 2018年の経営について、最も影響を受けた自然災害や異常気象は何ですか。また経営に受けた影響は何ですか。

